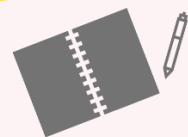




西淀川区 将来ビジョン2025 (案)



令和6年11月



資料1-1



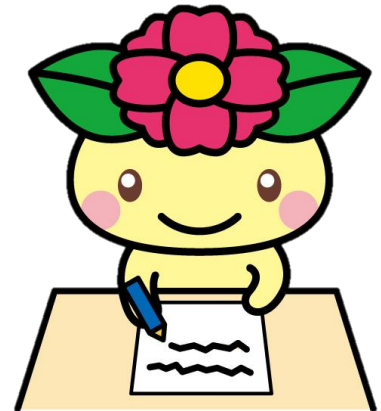
もくじ

- P3 将来ビジョンとは
- P4 西淀川区の概要
- P5 西淀川区がめざす将来像
- P6 未来に向けた基本方針と5つの柱
- P7～ 施策と主な取組



将来ビジョンとは

- 将来ビジョンは、区政を運営していく上で、区のめざす将来像、その実現に向けたまちづくりの方向性をとりまとめ、区民の皆さまに明らかにするものです。
- おおむね、これからの4年間を見据えて、中長期のビジョンを策定します。



西淀川区の概要

1. 位置と地理

- ・大阪市の北西部に位置し、西側は兵庫県尼崎市と隣接。大阪湾と淀川、神崎川などに囲まれた地形。
- ・区内を横断する大野川緑陰道路、河口の野鳥観察スポット・矢倉緑地、淀川河川敷など豊かな自然と調和した都市環境。

2. 交通アクセス

- ・JR線や阪神線が通り、梅田・難波・神戸へのアクセスが便利。
- ・阪神高速や国道など市内中心部へ続く主要な幹線道路が通り、神戸・北摂方面からの交通の要衝。

令和7（2025）年に、
区制100周年を迎えます。



3. 産業と人口

- ・製造業を中心に企業が多く立地・集積し、ものづくりのまちとして発展。従業者数は12,848人で24区中1位。
- ・近年では総人口はほぼ横ばいだが、多様な外国人がより多く暮らすようになったこともあり、転入者数が転出者数を上回っている。

4. 公共施設と商業

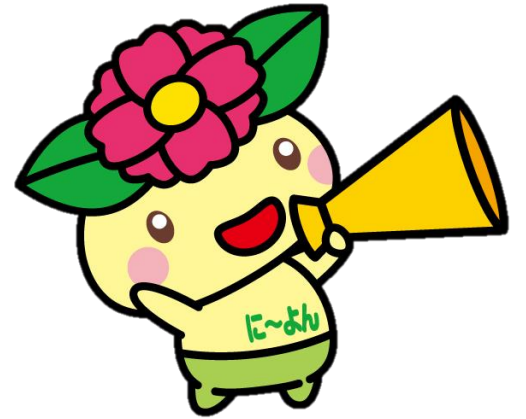
- ・人口1人当たりの公園面積は24区平均以上。
- ・令和12年頃に阪神なんば線福駅の高架化工事が完了予定。近辺に日本屈指の出産数を誇る大病院もあり、新たなにぎわいが生まれる可能性がある。

5. 地域コミュニティ

- ・イベントや祭りなどを通じて交流を深め、温もりのある人間関係を形成。
- ・人口当たりの街頭犯罪発生件数は24区最少で、治安の良いまち。

西淀川区がめざす将来像

活気があり、
笑顔にあふれ、
常に進化するまち



高い防災力を備え、さまざまな文化でにぎわう西淀川

未来に向けた5つの柱と基本方針

5つの柱

01

地域コミュニティの活性化

02

健康で安心・安全な地域づくり

03

未来を担う人材の育成

04

魅力と活力あふれるまちづくり

05

DXの推進による
市民QoL(生活の質)向上



①官民共創の推進



②SDGs達成の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



基本方針

施策と主な取組

①地域コミュニティの活性化

施策展開の方向性

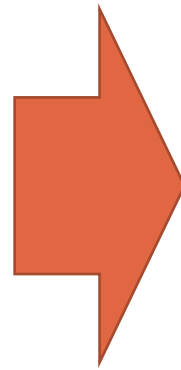
- 地域活動が活発なまち
- 製造業が安心して操業できるまち
- 商業が元気で活気に満ちたまち

成果目標（アウトカム指標）

- 町会加入率：65.4%以上（令和10年度末）
- 区内企業ネットワークに参画する企業数：150社（令和10年度末）

現状と課題

- 西淀川区の町会加入率は令和5年調査において65.4%となっており、大阪市平均より高いものの、平成31年調査と比べ7.9ポイント減と低下傾向が続いている
- 工場跡地等へのマンション建設や単身世帯の増加が主な要因
- 製造業の集積は西淀川区の魅力・強みのひとつであるが、製造業事業所数は480事業所で、平成28年調査と比べ7.7%減
- 小売業、飲食店の事業所数は752事業所で、平成28年調査と比べ15.4%減



施策

- 大阪市町会加入促進戦略、西淀川区町会加入促進アクションプランの実行
- 製造業の操業環境の整備
- 元気で魅力ある店舗の創出
- 単身世帯及び外国人への地域コミュニティ参加促進

施策と主な取組

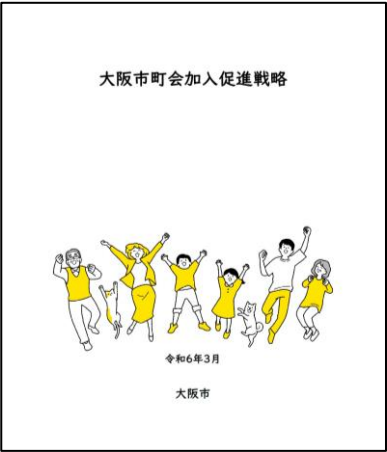
①地域コミュニティの活性化

主な取組（予定）

- 新たに開発される集合住宅等の開発事業者への町会加入に向けた働きかけ
- 西淀川区民まつりの開催
- 西淀川ものづくりまつりの開催
- にしよどバル、商店街再生イベントの開催

西淀川区町会加入率

	加入世帯数	世帯数 (国勢調査年)	町会加入率	(参考)市平均 町会加入率
H31	31,473	42,924 (平成27年)	73.3%	55.1%
R2	31,473	42,924 (平成27年)	73.3%	54.3%
R3	30,871	46,266 (令和2年)	66.7%	48.5%
R5年	30,277	46,266 (令和2年)	65.4%	46.4%



大阪市町会加入促進戦略



西淀川ものづくりまつり



にしよどバル

施策と主な取組

② 健康で安心・安全な地域づくり（防災編）

施策展開の方向性

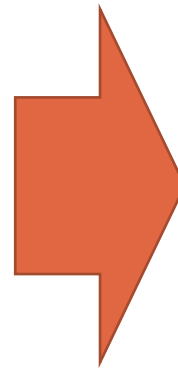
災害対応力の高いまちをめざす

成果目標（アウトカム指標）

- ・防災教育プログラムを令和7年度までに全小中学校で実施し、その後も継続
- ・優先度の高い要支援者で、希望する方の個別避難計画を令和8年度までに完成

現状と課題

- ・地域の防災、減災を実現していく上で、自主防災組織との訓練など、地域コミュニティのなかでの助け合いを推進していくことが重要
- ・防災の新たな担い手を作ることが必要
- ・区内小中学校で防災教育プログラムを順次実施しており、令和5年度時点では17校中6校で実施
- ・高齢者をはじめ、避難行動要支援者（以下、要支援者）の対策を講じる必要があるが、優先度高で、希望する方の個別避難計画は、令和5年度時点で22.8%作成



施策

- ・地域との話し合いを継続的に実施しながら、地域の特性に応じた地域防災活動の支援
- ・防災リーダーなど防災人材の育成、普及
- ・地域や専門職との連携による災害時の避難行動支援、個別避難計画の作成推進

施策と主な取組

② 健康で安心・安全な地域づくり（防災編）

主な取組（予定）

- ・地域防災訓練等の実施
- ・防災教室（防災教育プログラム）、出前講座の実施
- ・個別避難計画作成の推進



施策と主な取組

② 健康で安心・安全な地域づくり（防犯・安全編）

施策展開の方向性

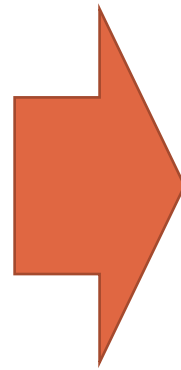
交通事故や犯罪がより少ない状態をめざす

成果目標（アウトカム指標）

- ・街頭犯罪発生件数：年間600件以下
- ・交通事故発生件数：年間200件以下

現状と課題

- ・令和5年の西淀川区内における街頭犯罪発生件数は712件、交通事故発生件数は240件
- ・区民一人ひとりが交通安全や防犯に対する意識を高く持ち、交通事故や犯罪が発生しないよう注意、行動する必要がある
- ・交通弱者である子どもや高齢者が交通事故に遭わないよう対策が重要
- ・特殊詐欺の被害者になりやすい高齢者が、手口や対策を知り、特殊詐欺に備えることが重要



施策

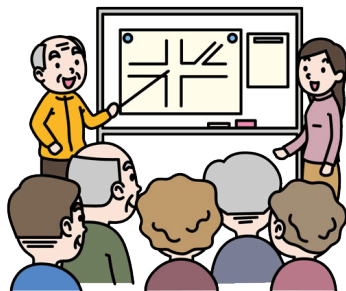
- ・学校園や地域における交通安全活動の推進
- ・犯罪の発生状況の傾向を捉えた防犯活動の推進

施策と主な取組

② 健康で安心・安全な地域づくり（防犯・安全編）

主な取組（予定）

- ・交通安全啓発（街頭啓発等）の実施
- ・防犯啓発（出前講座等）の実施
- ・自転車対策（マナーキャンペーン等）の実施



施策と主な取組

② 健康で安心・安全な地域づくり（健康編）

施策展開の方向性

・区民が自らの健康に関心を持ち、主体的に健康の維持増進に取り組むことで健康寿命※の延伸をめざす。

成果目標（アウトカム指標）

・大阪市がん検診受診者数：令和10年度までに14,235人（令和元年度受診者数）以上

現状と課題

- ・西淀川区の女性の健康寿命は令和3年82.9歳と大阪市平均83.2歳より短い
- ・西淀川区の死因の1位はがんで、男性、女性ともがんによる死亡割合が大阪市平均に比べて高い
- ・大阪市がん検診受診者数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響を受け、令和2年度に大きく減少
- ・健康寿命を延伸するためには日頃から自身の健康を意識し、ライフステージに応じた生活習慣の改善や、特定健診・がん検診を定期的に受診することが重要

施策

- ・生活習慣病やがんに関する正しい情報の発信
- ・特定健診、がん検診の受診勧奨の強化
- ・医療機関、地域関係機関や企業などと連携した支援の推進

※健康寿命とは・・・健康上の問題で日常生活に制限されることなく生活できる期間のこと

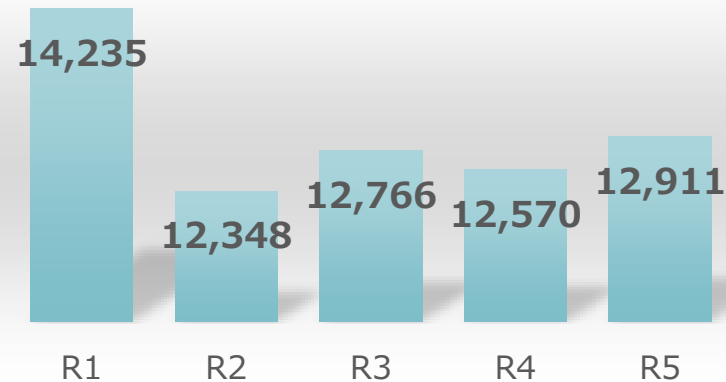
施策と主な取組

② 健康で安心・安全な地域づくり（健康編）

主な取組（予定）

- ・生活習慣病やがんに関する情報を、あらゆる機会を捉え積極的に提供（広報紙や区公式ラインを活用した周知、健康講座での啓発など）
- ・区民が日常利用する場所への啓発媒体の掲示や設置
- ・検診を受診しやすい環境の整備（行政オンラインシステムでの受付）
- ・地域の関係機関や企業が持つリソース（アイデアや場）を相互共有し、健康いきいき展など各種イベントを実施

大阪市がん検診受診者数（西淀川区） 年次推移



区公式ライン
「がんについて知ろう」に
がんに関する情報を掲載



施策と主な取組

③ 未来を担う人材の育成

施策展開の方向性

- ・孤独・孤立を防ぎ、こどもと保護者に寄り添えるまちづくり
- ・西淀川区のこどもたちがいきいきと育つ環境整備
- ・外国人住民が安心して生活し、活躍できる状態をめざす

成果目標（アウトカム指標）

西淀川区子育て応援サイト ほっとえーる
総ユーザー数 令和10年度までに未就学児人口の50%

現状と課題

- ・教育環境や子育て支援の充実
- ・子育て層への情報提供の強化
- ・近年は外国人が増加傾向。関西最大級のモスクがあり、日本語学校は区内に3校設置されるなど、多様な外国人が西淀川区民として居住
- ・外国につながる子どもたちへの支援の充実
- ・言葉の問題等でコミュニケーションが取りづらい方に対し、生活や福祉などの情報を提供し支援する必要がある



施策

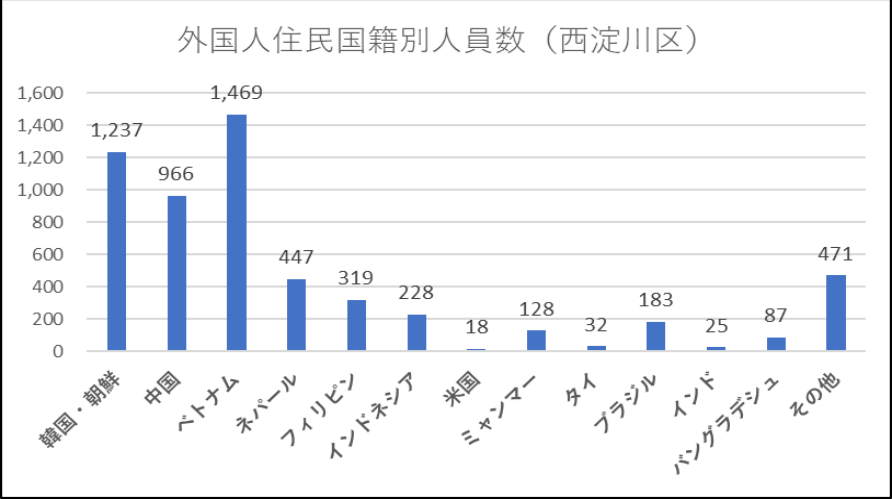
- ・将来、区を代表する活躍ができるフロンランナーを育成するため、学校を支援
- ・こどもの支援にかかるネットワークの充実
- ・誰でも気軽に集まり、楽しく交流・情報交換できる場の提供

施策と主な取組

③ 未来を担う人材の育成

主な取組（予定）

- ・子育て世帯へ届く 情報の提供
ほっとえーる/LINEを活用した周知
- ・子ども・子育て支援連絡会の継続開催
- ・フロントランナーの育成に向けた学校の支援
- ・にほんごカフェ
誰でも気軽に集えて情報交換のできる場
- ・日本語学校との交流
日本の文化等を伝える出前講座の開催



約5,600人の外国人が居住（令和5年12月末日現在）
近年、ネパール・ミャンマー・バングラデシュが増加傾向

ほっとえーる 総ユーザー数

総ユーザー数	月平均	未就学児人口	人口比
令和4年度 (R4.8～R5.3)	1,208	3,891	31.0%
令和5年度 (R5.4～R6.3)	1,672	3,823	43.7%

※令和4年7月開始。
7月は導入月のため、8月以降の数値を参照。



にほんごカフェ



日本語学校との交流

施策と主な取組

④ 魅力と活力あふれるまちづくり

施策展開の方向性

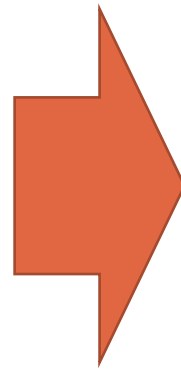
- ・区民主体の美化活動が普及し、環境にやさしくきれいなまちをめざす
- ・官民共創の推進により、「選択されるまち」としてのまちの魅力向上を図る

成果目標（アウトカム指標）

- ・大野川緑陰道路クリーン活動開催時の参加者数：2割増
- ・企業等との共創事業実施件数：毎年度10件以上

現状と課題

- ・大野川緑陰道路クリーン活動の参加者数（直近開催時、1回あたり）は約300人。区民の美化意識がさらに向上し、きれいで住みたいまちとなる必要がある
- ・西淀川区を公害のまちから「環境にやさしいまち」にイメージを生まれ変わらせる必要がある。
- ・区の抱える多様化・複雑化する地域課題の解決、まちの魅力向上に向け、より一層の官民共創を推進する必要がある



施策

- ・清掃を通じて区民自らの美化意識を醸成できる機会の創出
- ・環境美化活動にかかるイベントの報告を通じた情報発信、啓発
- ・官民共創（共創事業・連携協定）の推進

施策と主な取組

④ 魅力と活力あふれるまちづくり

主な取組（予定）

- ・大野川緑陰道路等グリーン活動の実施
- ・淀川河川敷環境美化活動の実施
- ・矢倉緑地環境美化活動事業の実施
- ・企業等との共創事業の実施（新規・継続）
- ・企業等との連携協定の新規締結



施策と主な取組

⑤ DXの推進による市民QoL(生活の質)向上

施策展開の方向性

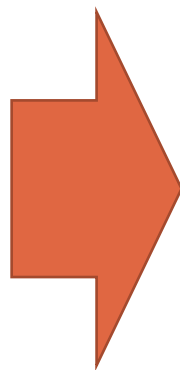
- ・ICTリテラシーが向上し、区公式LINEなどによる「伝わる情報発信」が更に充実している状態をめざす。
- ・区役所関係の手続きが、ストレスなく便利で簡単にできる状態をめざす。

成果目標（アウトカム指標）

- ・区役所公式LINEアカウントの友だち登録者数：毎年度＋1,000名以上
- ・コンビニ交付率：令和8年度までに62.8%以上

現状と課題

- ・情報の一元化やデジタル化の深化等により、区民への情報提供の向上、利便性向上を図る必要がある
- ・便利で簡単に行える手続き方法があるにもかかわらず、各種証明書のコンビニ交付率は令和5年度時点で39.7%となっており、手続きの利用率が低い



施策

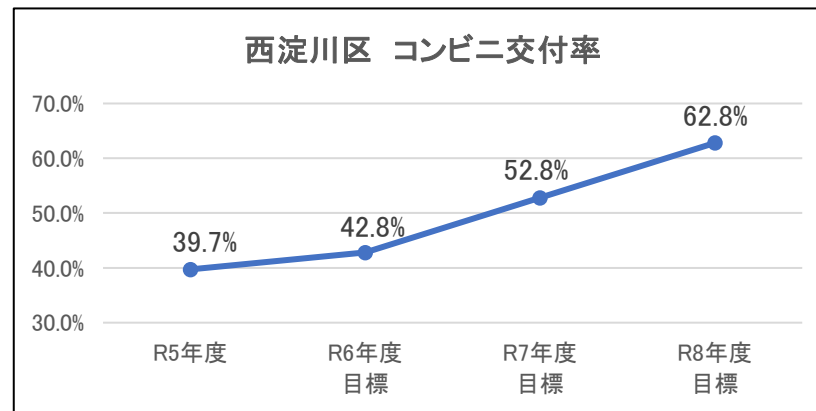
- ・区政の主要な情報の一元化
- ・官民連携や国・府との連携により、ICTリテラシー学習機会の展開
- ・特に区役所に行く必要のない手続きについて、コンビニ交付の利用を促進

施策と主な取組

⑤ DXの推進による市民QoL(生活の質)向上

主な取組（予定）

- ・区公式LINEによる情報の一元化
- ・様々な場所でのスマホ講習会の継続開催
- ・区役所にコンビニ交付ができる機械を置いて、利用する方のお手伝いをする



西淀川区将来ビジョン2025

編集／発行

大阪市西淀川区役所 政策共創課

